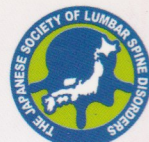




begin.continue

千葉大学大学院医学研究院・医学部



第22回 日本腰痛学会

プログラム・抄録集

腰痛の科学

The 22nd Annual Meeting of the Japanese Society of Lumbar Spine Disorders

会期 2014年11月15日(土)・16日(日)

会場 幕張メッセ国際会議場

会長 高橋 和久 千葉大学大学院医学研究院 整形外科 教授

会長挨拶

第22回日本腰痛学会の開催にあたって

会長 高橋 和久

(千葉大学大学院医学研究院 整形外科学)



第22回日本腰痛学会を千葉市の幕張メッセ国際会議場にて、平成26年11月15日（土）、16日（日）の2日間にわたり開催させていただきます。会長に選任いただきましたことを誠に光栄に存じ、心より御礼申し上げます。

今回、学会のテーマを「腰痛の科学」といたしました。腰痛は極めて頻度の高い愁訴であるにもかかわらず、その多くが「非特異的腰痛」とよばれ原因が特定できないとされています。個々の患者さんで部位、性質、強度、時間的経過などがさまざまに異なり、心理社会的な要素も関与する「腰痛」を実証的、法則的、体系的に完全に理解することは極めてむずかしいと考えられます。しかしながら、現代医学において、よりよい腰痛診療を実現するためにはその病態解明は不可欠であり、私達に与えられている手段は科学的手法であるといえます。今回の学会をこのような「腰痛の科学」に力点をおいた会にできればと考えております。

会長講演は学会のテーマと同じ「腰痛の科学」というタイトルでさせていただきます。過去の研究の系統的検索、レビュー、学会活動の重要性、臨床的問題点を明確にした基礎研究、科学的手法に則った臨床的研究の大切さについて私見を述べさせていただきます。今回、一般演題には200題の応募をいただきました。この内、1題はシンポジウムでの発表をお願いし、他1題を除く198題を採用させていただきました。この他、シンポジウム3セッション18題、ディベート1セッション4題、スポンサー教育研修講演2題、モーニングセミナー1題（講演者2名）、ランチオンセミナー6題、イブニングセミナー2題（講演者3名）、ハンズオンセミナー2題を企画いたしました。

一般演題の中から抄録にもとづき、優れた13題をAward候補に選出させていただき、発表者の氏名と演題番号を本プログラムに公表いたしております。これらの中から、最優秀演題2題、優秀演題3題を選び表彰する予定であります。候補に選ばれた皆様には是非すばらしい発表・討論をされるよう期待しております。

11月半ばの千葉はとても爽やかな季節です。また、幕張は房総や東京へのアクセスもよく、学会の前後には関東の秋を満喫していただければと存じます。是非、多くの皆様に学会にお出でいただき、活発なディスカッションを通じて実り多い会となりますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。